

「軍記日記を読む会」の会員募集

(財)長谷川歴史・文化・交流の家

このたび、長谷川歴史・文化・交流の家では、幕末から明治にかけて長谷川家第9代当主の軍記が書き残した日記（以下、『軍記日記』という。）を、京都の近世史に関心をもつ方々とともに読み解く研究会「軍記日記を読む会」を開催することと致しました。皆様方のご参加をお待ちします。

開催要領

1. 会の目的

幕末から明治にかけて、山城国紀伊郡東九条村（現在の京都市南区）の百姓であった長谷川軍記の日記（弘化2年（1845）の家督相続のときから、死去（明治4年（1871））に至るまでの27年間の記録）を読み解き、当時の京都近郷農村の暮らし振りについて、学び、考えることを目指します。

なお、研究会は、古文書の読み下しに馴染みのなかった方々でも学べるよう、できる限り平易な内容になるように努めます。

2. 講師

伊東宗裕先生 1951年福岡県生れ。立命館大学大学院修了。京都市歴史資料館に奉職。退職後、京都アスニー、NHK文化センター京都教室などで連続講座を担当されています。

3. 開催要領

開催；10月より来年2月まで月1回（第3土曜日午後2時～4時）

第1回；10月19日（土）午後2時～4時

会員制；参加は、会員制（参加料は前払い）とします。

会員登録は、別紙により、9月30日（月）までにお願ひします。

（定員30名。希望者多数の場合は、抽選とさせていただきます。）

参加料；一回600円で、6回分を前納とします。

* 振込先；京都銀行京都市役所前支店 口座番号：3710432

名義：(財)長谷川歴史・文化・交流の家

連絡先；(財)長谷川歴史・文化・交流の家

〒6-1-8024 京都市南区東九条東札辻町5

Tel/fax;075-606-1956 Mail:sou7rou@siren.ocn.ne.jp

駐車場あり。但し、ご利用の場合、その都度、事前連絡を願ひます。

申 込 書

2019年 月 日

(財)長谷川歴史・文化・交流の家

代表理事 中川聰七郎 様

私は、長谷川歴史・文化・交流の家が主催する2019年10月から翌3月までの『軍記日記を読む会』に参加致したく、(会費を添えて、(または、会費を振り込みましたので)) 申し込みます。

住 所

氏 名

(所 属)

<コメント>

古文書の読み下しの経験の有無について、簡単にご記入ください。